

祝
錦峠全線開通

～峠を越えて結ばれる道～

国道260号

にしき

錦峠全線開通



にしき ほうりょう
錦地区(豊漁橋)を走行するトラック
(H26.12月撮影)



三重県



大紀町



南伊勢町



国土交通省

～峠を越えて結ばれる道～

国道260号 錦峠全線開通

祝
錦峠全線開通

～目 次～

- 事業概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1
- 国道260号の昔と今・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2
- 近くて遠い町から近くて近い町へ・・・・・・・・ P 3
- 地域間交流の増加・・・・・・・・・・・・・・・・ P 4
- 通勤・通学の促進・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5
- 進学先の選択の拡大・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6
- 地域の主要産業である漁業を支援・・・・・・・・ P 7
- 周辺道路の開通が漁業の町を支援・・・・・・・・ P 8
- 大雨や災害時の避難・移動も確実に・・・・・・・・ P 9
- 津波から逃れる場所として使えるように・・・・・・・・ P 10
- 手作りの津波避難階段を整備・・・・・・・・ P 11
- 高齢化社会の支援・・・・・・・・・・・・・・・・ P 12
- 身近になった高度救急医療サービス・・・・・・・・ P 13
- 日常的な医療サービスの支援・・・・・・・・ P 14
- 広域観光ルートの形成による観光促進・・・・・・・・ P 15

事業概要

国道260号錦峠は、現道260号の隘路区間の解消を目的に計画された道路です。
国道260号は志摩市を起点とし、北牟婁郡紀北町に至る延長約105kmの三重県が管理する幹線道路です。

本事業は、昭和59年度に度会郡南伊勢町から同郡大紀町間6.7kmについて国が権限代行による直轄事業として着手し、現在までに4.9kmが完成2車線で完成しており、今回、平成27年2月15日に残る1.8km間が完成することにより、全線開通をむかえます。

計画の概要

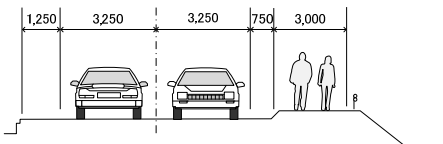
- 事業名 国道260号 錦峠
- 事業区間 三重県度会郡南伊勢町棚橋竈
～同郡大紀町錦
- 全体延長 6.7km
- 規格 3種3級
- 設計速度 50km/h
- 車線数 2車線

事業の経緯

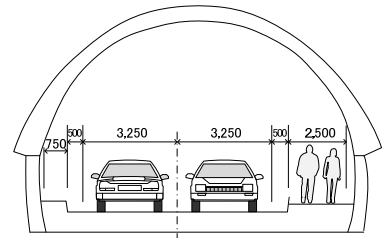
- 昭和59年度 事業着手
- 昭和61年度 用地買収着手
- 昭和63年度 工事着手
- 平成8年度 一部開通 延長1.1km
- 平成12年度 一部開通 延長0.6km
- 平成14年度 一部開通 延長3.3km(本線2.0km 取付道路1.3km)
- 平成17年度 一部開通 延長1.2km
- 平成26年度 一部開通 延長1.8km **全線開通**

標準断面図

● 一般部



● トンネル部

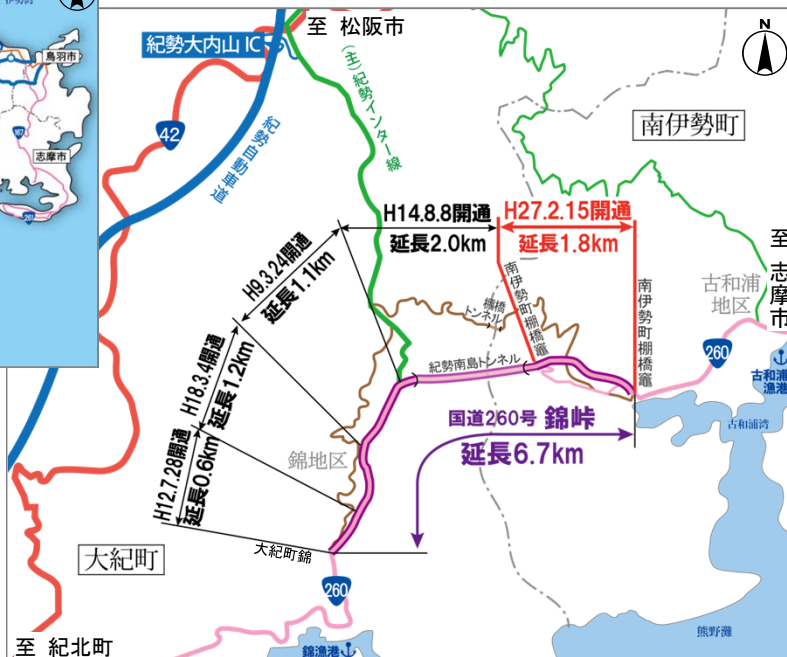


単位:mm

位置図



大紀町錦地区の風景



南伊勢町の風景

- 凡例
- 国道260号錦峠
 - 高速道路
 - 国道(直轄管理)
 - 国道(直轄管理区間外)
 - 旧国道260号
 - 主要地方道

国道260号の昔と今

●旧国道260号^{たなはし}棚橋トンネル



狭いトンネルを慎重に走行するトラック

●現国道260号^{きせいのんとう}紀勢南島トンネル



広いトンネルをスムーズに走行するトラック
(H26.12月撮影)

●旧国道260号^{にしき}錦地区



急カーブが連続する峠道

●現国道260号^{にしき}錦地区



急カーブがなく走りやすい錦峠(錦橋付近)
(H26.12月撮影)

●^{たなはし がま}棚橋竈地区



道幅が狭く、車のすれ違いも困難な峠道

●^{たなはし がま}棚橋竈地区



道幅も広く、歩道も確保された錦峠(棚橋南島大橋)
(H26.12月撮影)

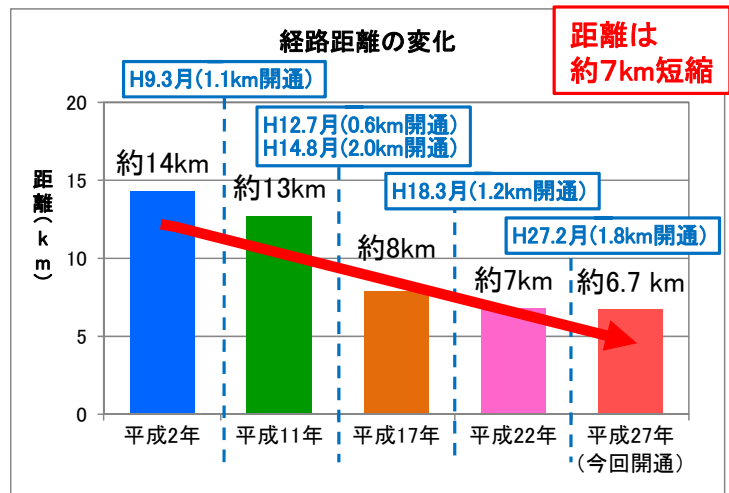
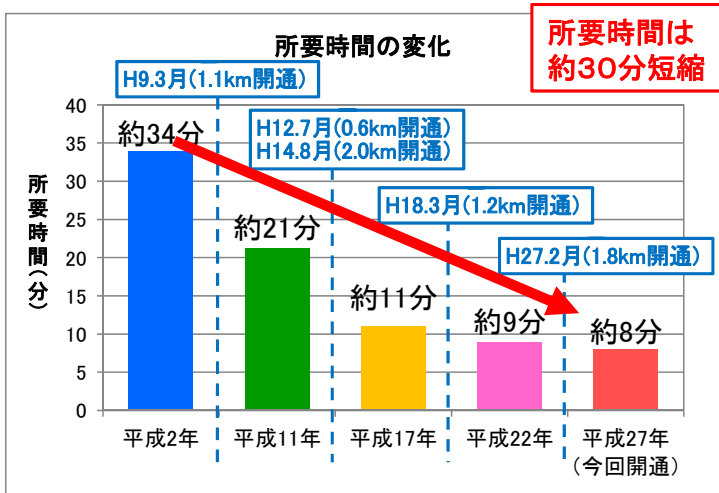
近くて遠い町から 近くて近い町へ

祝
錦峠全線開通

国道260号錦峠の全線開通により、大紀町と南伊勢町間の所要時間は、**約30分短縮**（延長は約7km短縮）し、約8分となります。

これまで「**近くて遠い町だった両町が近くて近い町**」になります。

所要時間及び距離の変化



※紀勢国道事務所交通量調査結果及び道路交通センサスより作成。今回開通区間は前後区間の規制速度(50km/h)より作成

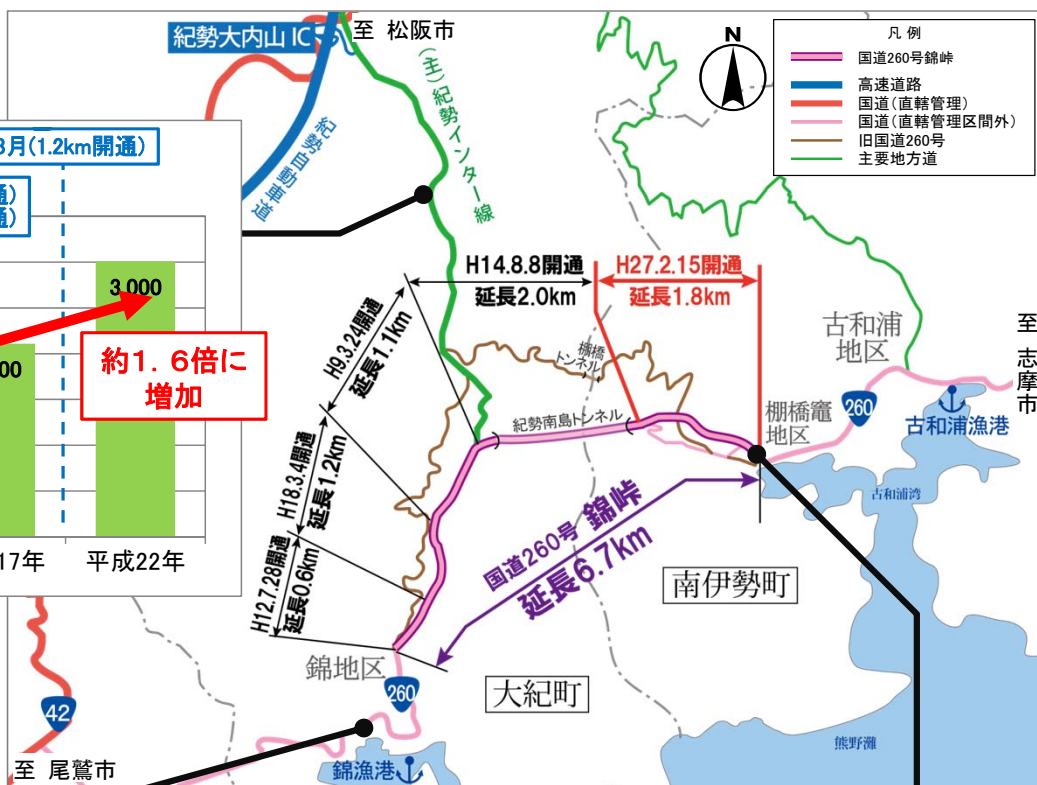
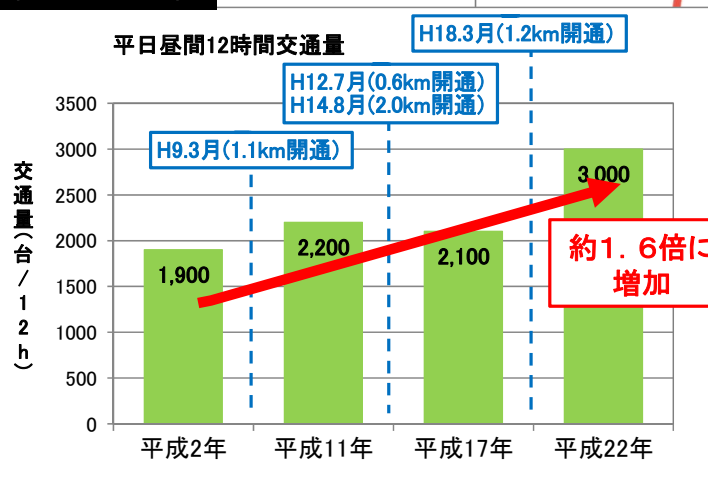
地域間交流の増加

道路が整備される以前の平成2年と比較し、国道260号棚橋竈地区の平日昼間の交通量は約**3.5倍に増加**。

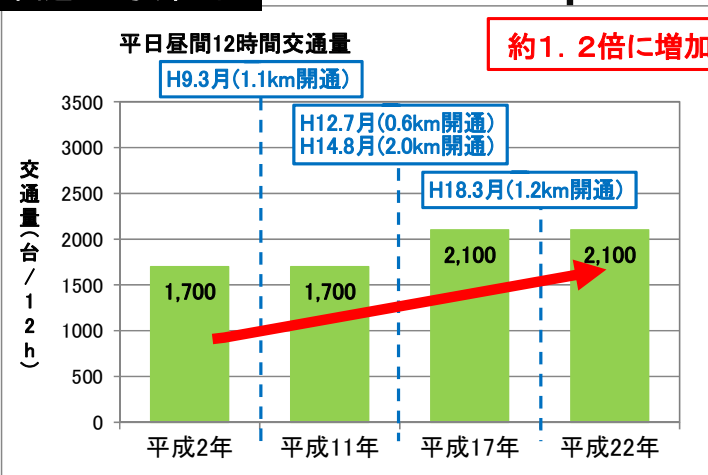
また、紀勢自動車道・国道42号へのアクセス道路である(主)紀勢インター線の平日昼間の交通量も約**1.6倍に増加**しており、国道260号錦峠の開通により、**地域間交流が増加**しています。

交通量の変化

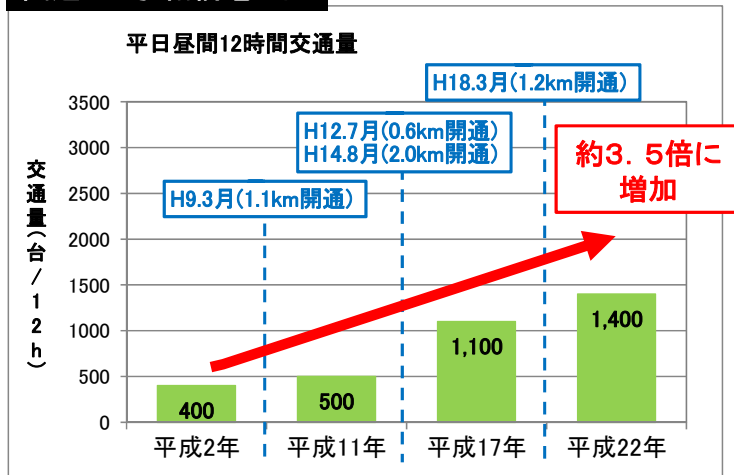
紀勢インター線



国道260号 錦地区



国道260号 棚橋竈地区

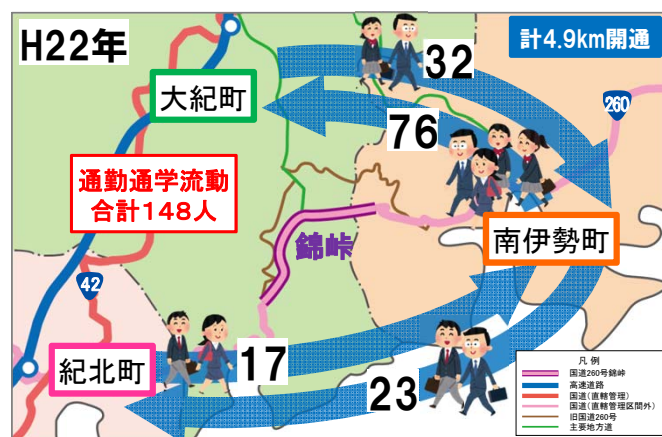
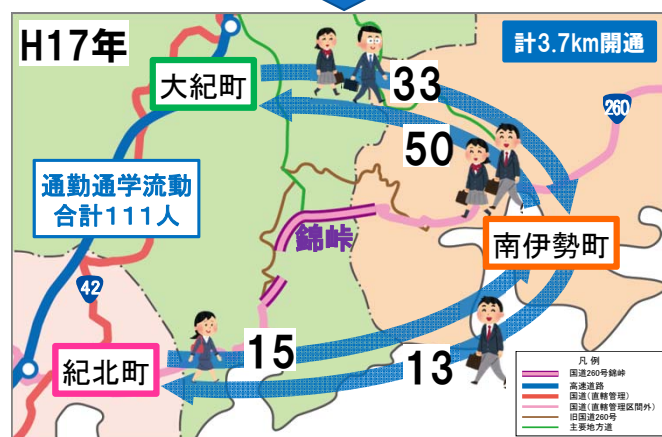
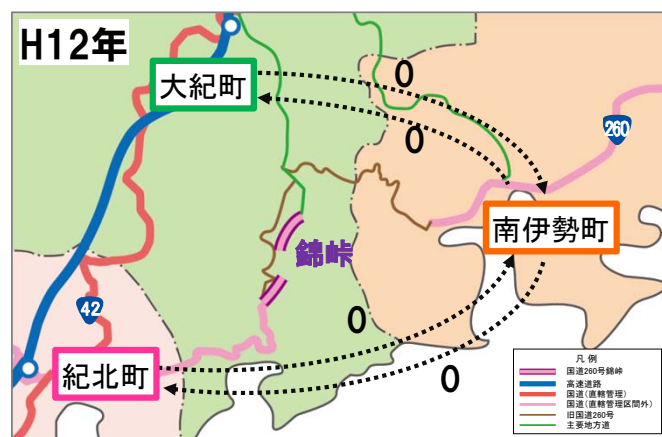
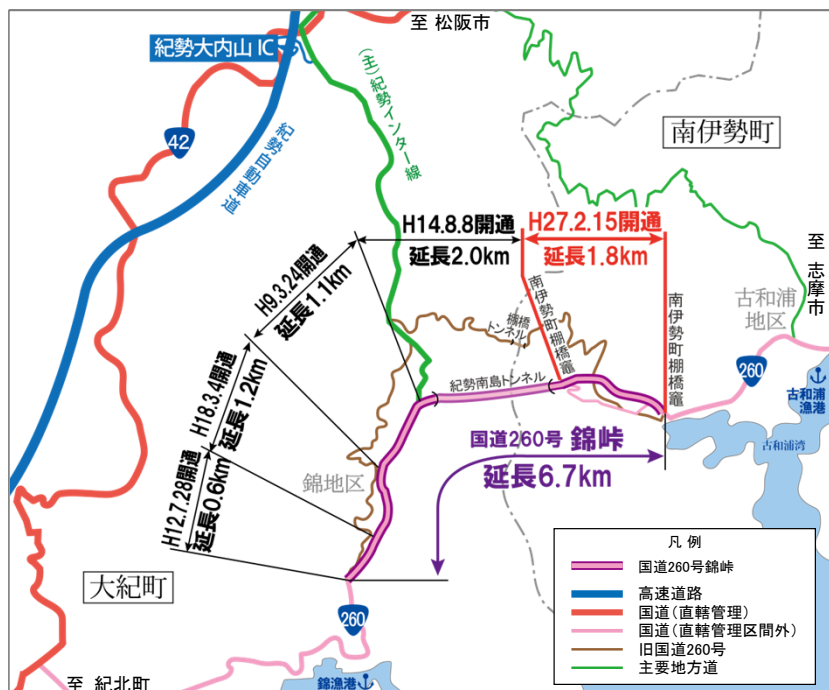


※道路交通センサスより作成

通勤・通学の促進

大紀町と南伊勢町、紀北町との通勤・通学流動は平成12年には無かったものの、国道260号錦峠の順次部分開通により、平成22年には約150人の通勤・通学流動が見られ、地域の生活の重要な道として利用が促進されています。

通勤・通学流動の変化



南伊勢町から大紀町方面へ向かう町営バス
(H26.10月より運行開始)

(H26.12月撮影)



※国勢調査結果より作成

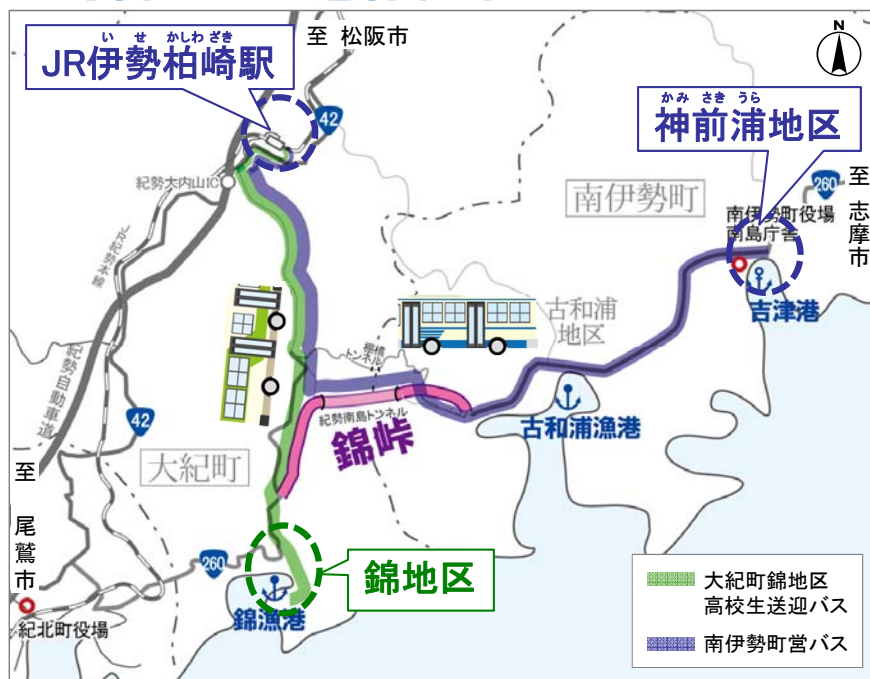
※数字は日あたりの流動数

進学先の選択の拡大

国道260号錦峠の開通に伴い、大紀町、南伊勢町から通学を目的とした町営バスの運行が順次開始され、現在20名の高校生が利用しています。

関係者からは、「高校の進学先の選択肢が拡大した」「下宿しなくても松阪方面への高校へ通学することができるようになった」との声があります。

町営バスの運行経路



町営バスの運行開始時期

● 平成 9年3月	1.1km開通
● 平成11年度	大紀町錦地区 高校生送迎バス 運行開始
● 平成12年7月	計1.7km開通
● 平成14年8月	計3.7km開通
● 平成18年3月	計4.9km開通
● 平成26年10月	南伊勢町営バス 運行開始
● 平成27年2月	全線開通 (延長6.7km)



早朝にJR伊勢柏崎駅でバスを降りる生徒 (H26.12月撮影)

大紀町役場 交通政策担当者の声

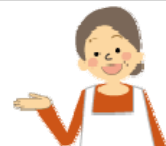
- ・ 錦地区は通学不便地域であり、国道260号錦峠が開通する前は、下宿をして松阪方面の高校へ進学するか、紀北町の高校へ進学するしか選択肢はありませんでした。
- ・ 道路の順次開通により、高校生送迎バスの運行が可能となり、下宿しなくても松阪方面の高校へ通学することができるようになり、進学先の選択肢が拡大しました。



※紀勢国道事務所による大紀町へのヒアリング結果

南伊勢町 地域住民の声

- ・ 松阪方面の高校に進学するためには、下宿するか、毎日JR伊勢柏崎駅まで送迎が必要でした。
- ・ 平成26年10月より、JR伊勢柏崎駅行きの町営バスが運行し、松阪方面の高校に通学できるようになりました。子どもたちの進学先の選択も増え、とても感謝しています。



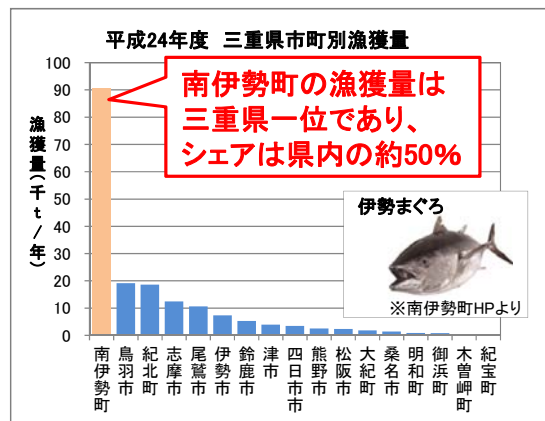
※南伊勢町による地域住民へのヒアリング結果

地域の主要産業 である漁業を支援

大紀町と南伊勢町の主要産業である漁業。南伊勢町の漁獲量は三重県一位で、県内の約50%のシェアを占めています。

道路の開通に伴い輸送トラックが順次大型化し物流の効率が向上しています。

漁獲量



※農林水産省海面漁業生産統計調査より作成

錦峠を通行する輸送トラックの変化



※上記はイメージであり、積載量等により通行できる車両は異なります。

漁港からの出荷経路



※大紀町・南伊勢町へのヒアリング結果より作成 魚を運送している大型トラック (H26.11月撮影)

物流事業者の声

- ・紀勢南島トンネル開通前は、旧道を通行していましたが、道幅も狭く中型トラックが通るのも大変な状況でした。
- ・今は大型トラックもスムーズに通行でき、所要時間も短縮され仕事の効率も上がりました。



※南伊勢町による物流事業者へのヒアリング結果



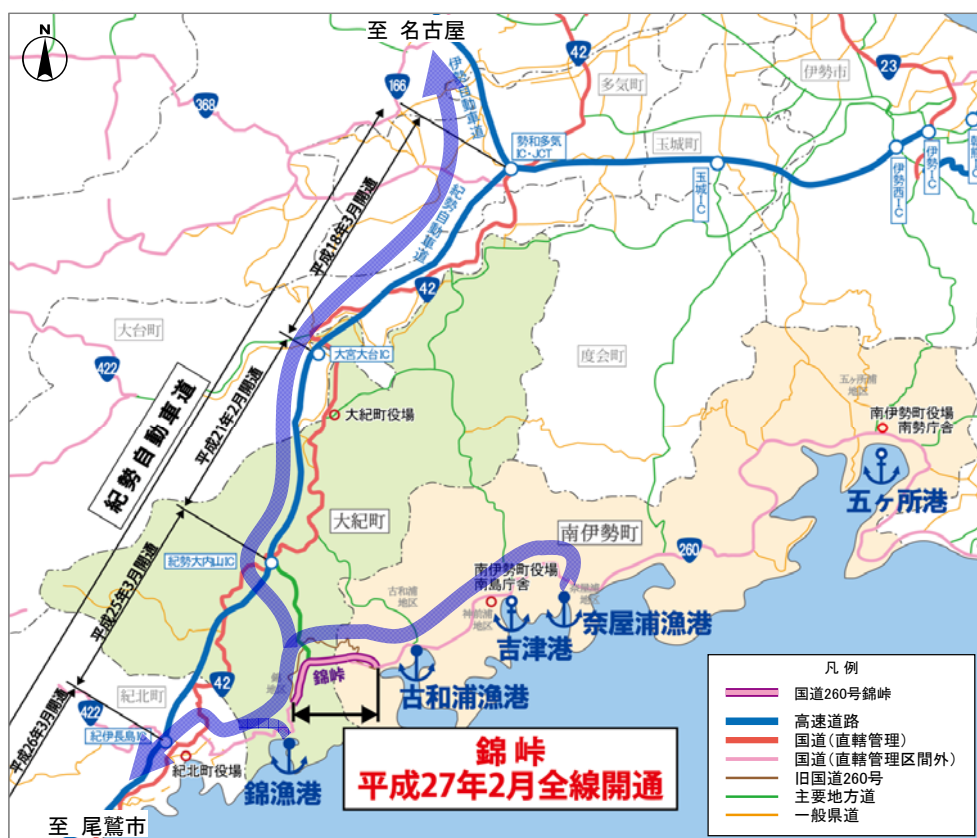
祝
錦峠全線開通

周辺道路の開通が 漁業の町を支援

高速道路・国道・県道等の順次開通により、大紀町・南伊勢町と都市部とのアクセス性が大幅に向上。

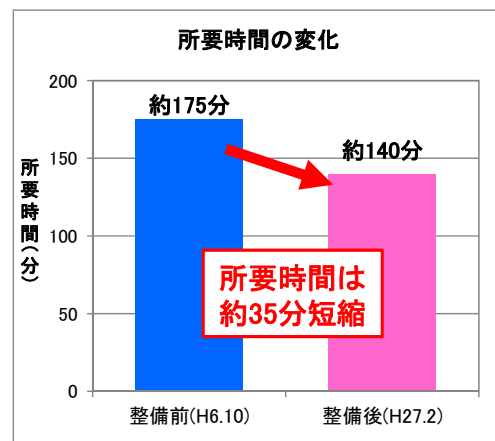
時間の短縮・魚の鮮度の向上に寄与しています。

■周辺道路の開通時期



■所要時間の変化

(奈屋浦漁港～名古屋市間)



※道路交通センサスより作成。
※開通前は平成6年10月、開通後は平成27年2月時点における開通状況で算出。
※今回開通区間は前後区間の規制速度(50km/h)より作成。

活気ある奈屋浦漁港 (H26.12月撮影)



■三重外湾漁業協同組合の声

- ・三重外湾漁業協同組合は、志摩市から尾鷲市まで広範囲に事業所が点在しており、移動に大変時間がかかっています。
- ・今回の国道260号錦峠の開通により南島地区から大紀町錦及び紀北町、尾鷲市への移動時間が短縮され直販事業(鮮魚販売)等の業務効率化に繋がると確信しています。



※南伊勢町による三重外湾漁業協同組合へのヒアリング結果

大雨や災害時の 避難・移動も確実に

多くの事前雨量通行規制区間に囲まれ、大雨や災害時に孤立する可能性がある大紀町錦地区と南伊勢町旧南島町地域。

国道260号錦峠は、道幅も広い道路であるとともに、**事前雨量通行規制区間が無く、紀勢自動車道・国道42号へのアクセスが可能**となり、**確実な避難・移動ルートが確保**されます。



国道260号
東宮～河内間(三ツ坂峠)での
土砂崩れの様子 (H19.5月撮影)



大雨時も快適に走行可能な錦峠
(紀勢南島トンネル) (H26.12月撮影)



細く脆弱な(主)南島紀勢線 (H27.1月撮影)



細く脆弱な(主)南島大宮大台線 (H27.1月撮影)



南伊勢町役場 防災担当者の声

- ・国道260号錦峠は、災害時には緊急輸送道路としての役割を果たし、より早く救助や救援を受け入れることができ安心です。
- ・また、道路の開通により、災害時の孤立集落が少しでも解消されることを期待しています。

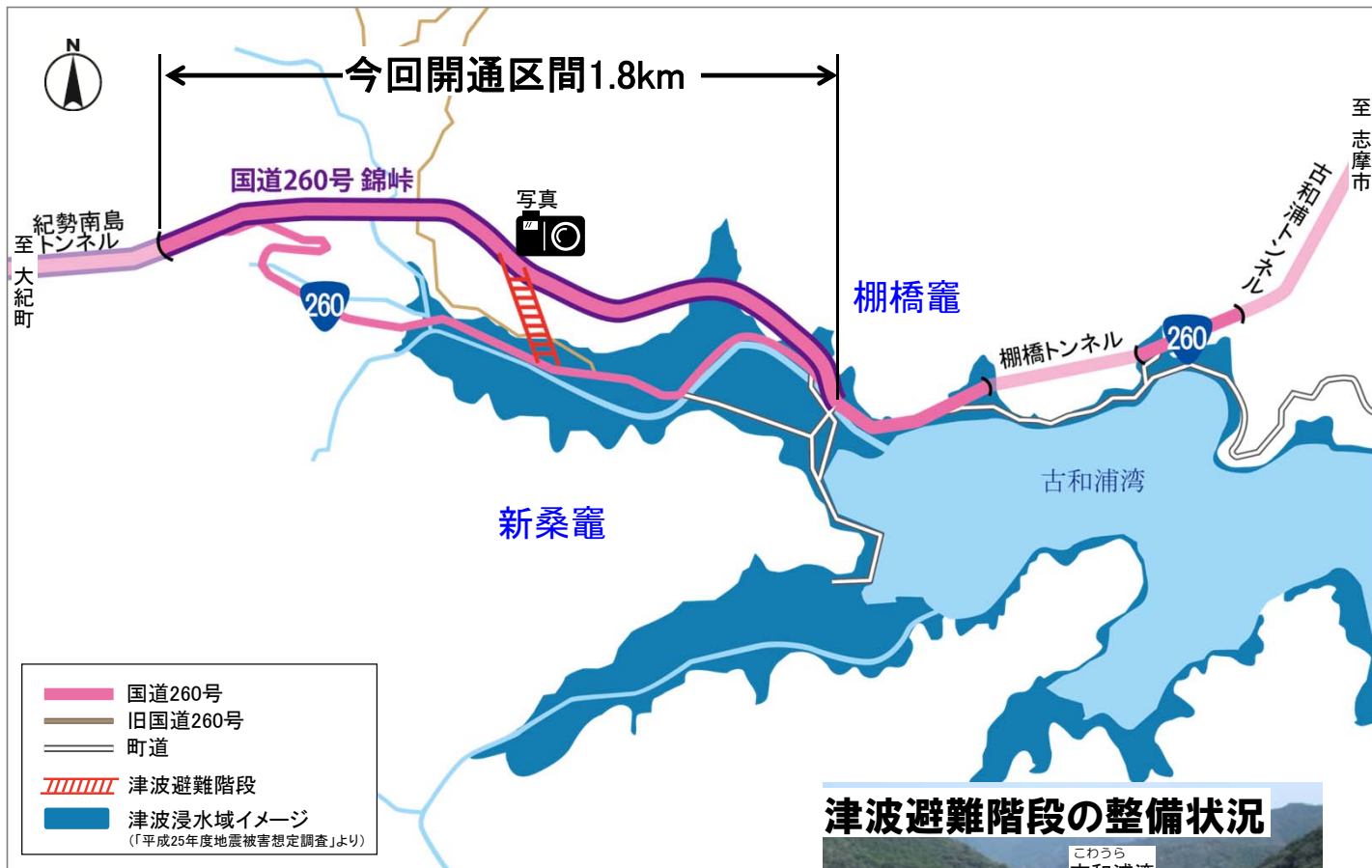


※紀勢国道事務所による南伊勢町へのヒアリング結果

津波から逃れる場所 として使えるように

近い将来、高い確率で発生が予想される南海トラフ巨大地震。
南伊勢町は津波での浸水が予想されます。
国道260号錦峠は高い位置にあるため、**津波から逃れる場所が確保**されます。
また、国道260号錦峠の道路整備とあわせ、津波避難階段を整備しました。

津波浸水域と避難階段



津波避難階段の整備状況



(H26.9月撮影)

南伊勢町役場 防災担当者の声

- 南伊勢町の棚橋竈地区では高齢化が進んでおり、徒歩での避難が困難な住民が多いため、国道260号錦峠が全線開通した後は、開通した道路を車で避難させることも考えています。



※紀勢国道事務所による南伊勢町へのヒアリング結果

手作りの津波 避難階段を整備

国道260号の道路整備とあわせ、整備された津波避難階段の一部は、南伊勢町^{たなはしがま}棚橋竈地区の住民、南伊勢町役場、国土交通省職員が協働し、**手作りで整備**されました。

避難階段の整備状況



たなはしがま

(H24.9月撮影)



完成した避難階段

(H24.9月撮影)

棚橋竈区長の声

- ・長年の夢であった国道260号錦峠が開通し大変喜んでます。
- ・高速道路へのアクセスも南伊勢町内で一番近く、南伊勢町の西の玄関口になりました。
- ・防災面では、高齢者が多く、車を利用しないと避難が困難であり、災害時には国道260号錦峠を避難場所としても利用させていただく計画です。
- ・また、災害時に歩いて道路に上がれる階段の設置もありがたく思っています。



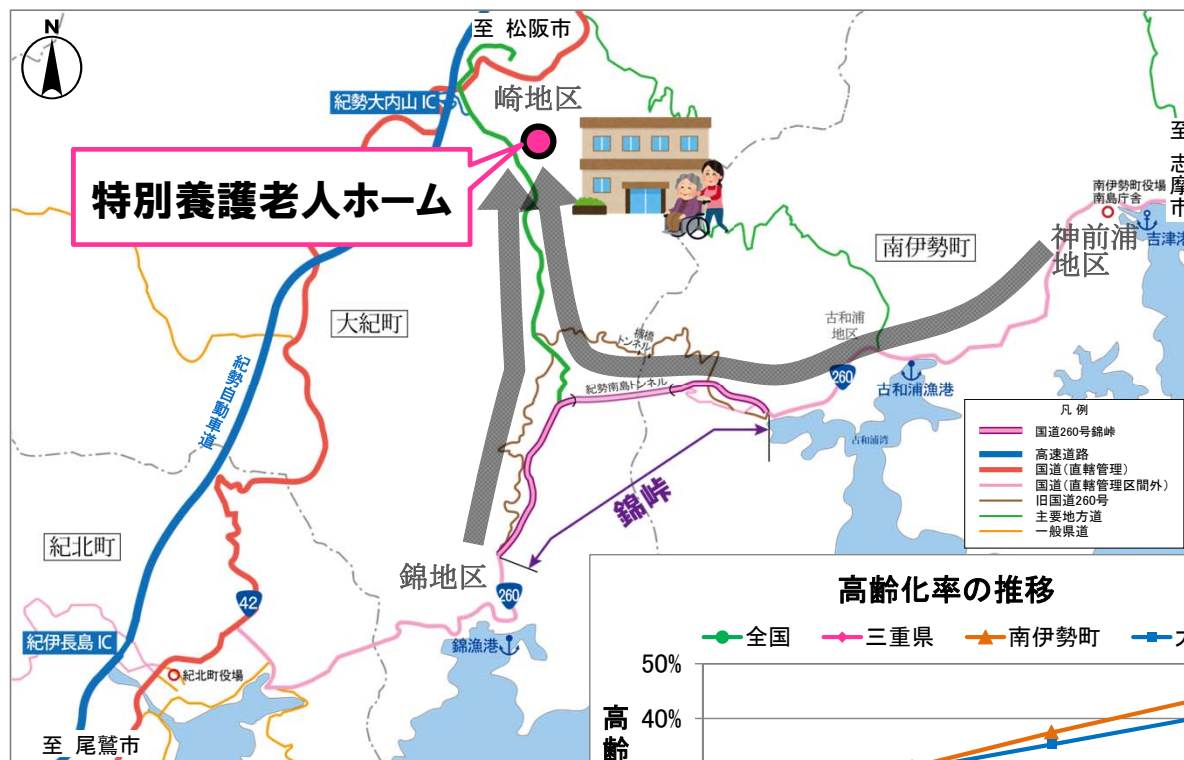
※南伊勢町による棚橋竈区長へのヒアリング結果

高齢化社会の支援

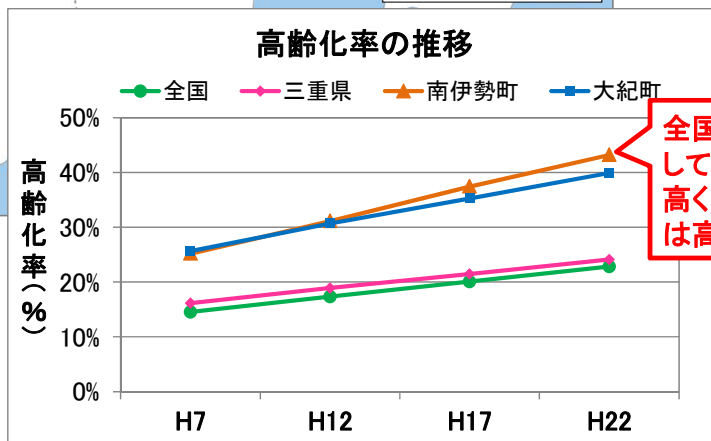
大紀町^{さき}崎地区にある特別養護老人ホームでは、大紀町錦地区23名、南伊勢町17名の方が現在入所、ショートステイを利用されています。

国道260号錦峠の開通により、特別養護老人ホームへのアクセスが容易となることで、利用者からは「施設へ入所している親に会いに行きやすい」との声があります。 ※人数は平成26年10月末現在

南伊勢町から特別養護老人ホームへのアクセス



※キングスガーデン共生園 HPより



全国、三重県と比較して、高齢化率が高く、介護のニーズは高い



※国勢調査結果より作成
※高齢化率とは65歳以上の人口が総人口に占める割合

特別養護老人ホーム利用者の声

- ・9ヶ月前に父親が特別養護老人ホームに入所しました。
- ・^{かみさきうら}神前浦地区から施設への所要時間は国道260号錦峠を利用することで約15分で父に会いに行けますので、大変便利です。



※南伊勢町による特別養護老人ホーム利用者へのヒアリング結果

身近になった 高度救急医療サービス

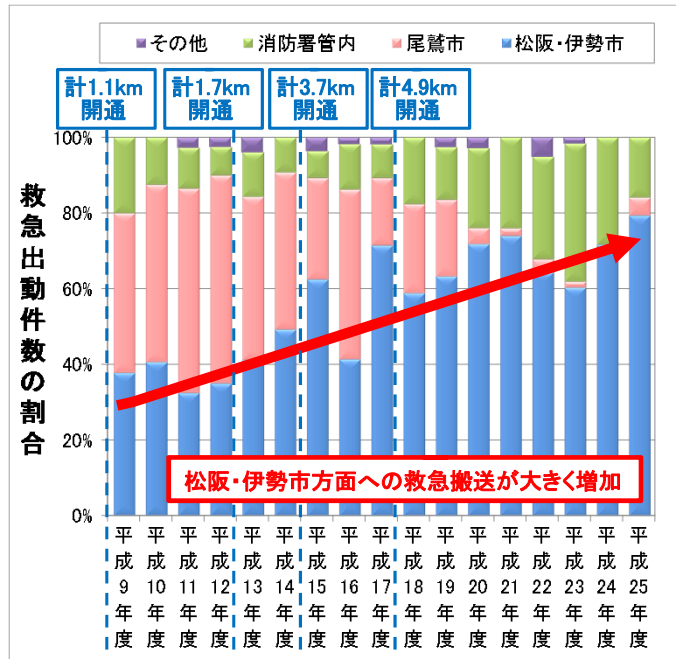
国道260号錦峠開通により、錦地区から松阪・伊勢市方面への救急搬送が容易となり、高度な医療施設が立地している松阪・伊勢市方面への救急搬送が増加しています。

また、救急搬送時に、急カーブの多い旧道から、カーブの少ない国道260号錦峠を利用することができ、患者への負担も軽減されています。

■大紀町錦地区から救急医療施設へのアクセス



■紀勢地区広域消防組合 奥伊勢消防署 紀勢分署 救急出動件数の搬送先別割合



※大紀町提供資料より作成

※消防署管内は^{おおだいちょう}大台町、^{なんとうちょう}南伊勢町の旧南島町地域、大紀町

■紀勢地区広域消防組合 奥伊勢消防署長の声

・錦地区の急病患者は基本的に松阪・伊勢市方面へ搬送します。国道260号錦峠の開通によりカーブの少ない道路を通行でき、搬送時間の短縮や患者への負担の少ない搬送が可能となりました。



※紀勢国道事務所・大紀町による

紀勢地区広域消防組合 奥伊勢消防署へのヒアリング結果

日常的な 医療サービスの支援

国道260号錦峠の開通に伴い、平成13年度に大紀町錦地区から大台町方面にある病院への通院を目的としたバスが運行され、現在1日平均約50名が利用しています。

更に、平成27年4月に三重県厚生農業協同組合連合会 大台厚生病院の開院が予定されており、日常的な医療サービスがますます充実されます。

医療施設へのバスルート



三重県厚生農業協同組合連合会 大台厚生病院

平成27年4月に開院予定



大紀町錦地区Cバス 大台厚生病院での下車の様子



(H26.12月撮影)

大紀町役場 福祉担当者の声

- ・ 国道260号錦峠開通前は、錦地区の方は尾鷲方面の病院へ通院していた方が多かったですが、最近では、アクセスが向上したため、大台厚生病院へ通院する方が増加しています。



※紀勢国道事務所による大紀町へのヒアリング結果

広域観光ルート の形成による観光促進

国道260号は伊勢志摩地域と東紀州地域を結び、自然等の地域資源を周遊する広域観光ルートとして期待されています。

また、紀勢自動車道から大紀町錦地区及び南伊勢町へのアクセスルートも形成され、紀勢自動車道の全線開通との相乗効果により、更なる観光促進が期待されます。

国道260号と周辺の観光資源



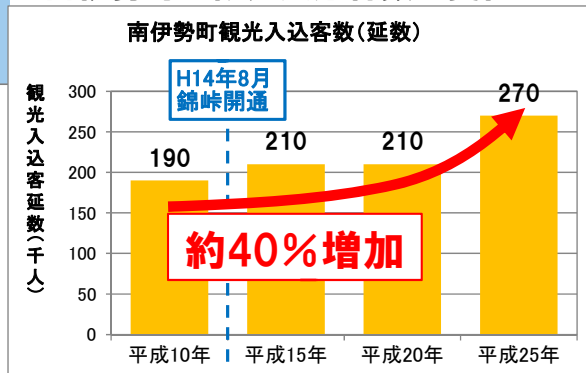
大紀町役場 観光担当者の声

・国道260号錦峠の開通後、紀勢自動車道から錦地区へのアクセスが良くなり、釣り客やツーリング客が増加しています。



※紀勢国道事務所による大紀町へのヒアリング結果

南伊勢町の観光入込客数の変化



※平成25年観光レクリエーション入込客数推計書及び観光客実態調査報告書より作成



三重県



大紀町



南伊勢町



国土交通省